



▲釣り場は港前の江ノ島沖



▲後半は30メートルダチに移動しウイリー仕掛けにチェンジ、底から誘い上げると様ざまな魚がヒットした



▲強烈な引きの正体は40センチ級のサバ
▶30~40センチ級の大アジも
◀船宿推奨のウイリー仕掛けはハリス3号3本バリ



▼この日の乗船者は9割が貸し道具で初挑戦



▲ウイリー仕掛けで釣れたアジは幅広く身が厚い個体が多かった



▲ウルメイワシは刺身が最高



▲上から10メートルのタナを狙った



▲30センチ級のホウボウ
◀カイワリも交じる

25センチ級のカイワリ、30~40センチ級の大アジやサバが釣れ上がり、強い引き込みに歓声が上がった。
9月はイナダやシヨゴ（小型のカンパチ）などが釣果に加わり、よりエキサイティングな青物五目（詳細は60ページ参照）が楽しめるようになるだろう。



★イサキは15センチ級主体

サビキ仕掛けで鈴なりのアジ&イサキ 湘南の青物五目はエキサイティング

相模湾
腰越港出船



▲サビキ仕掛けは船宿で購入できる。オモリは30~40号

★早朝はサビキ仕掛けてアジやイサキが入れ食い



▲前日はカマス（ヤマトカマス）を60本以上釣った人も
▼サビキ釣りのポイントは15メートルダチの岩礁帯



青物五目と一口にいっても、エリアや時期により狙う魚種は様々。今回取材した相模湾腰越港の秋田屋は、魚種やサイズにこだわらず、サビキやウイリー仕掛けで、その日に釣れる魚を気軽に釣って楽しむスタイルだ。比較的釣り方が簡単で貸し道具で気軽に楽しめるので、ビギナーや子供連れのファミリーを中心に人気がある。
8月中旬の取材日も親子や初心者グループで大賑わい。早朝は江ノ島沖の水深15メートル前後の浅場をサビキ仕掛けで狙い、10~15センチの小アジやイサキ、ウルメイワシなどが鈴なりに付いて大人も子供も大興奮。後半はウイリー仕掛けに替えて水深30メートル付近を狙い、

撮影・訓練 啓雄



▶初めての釣りでこの釣果、親子の忘れられない思い出に



●相模湾腰越港・秋田屋 齊藤 太俊船長